



Meiji University
Center for Mathematical Modeling and Applications

CMMMA Colloquium

11

第11回 現象数理学コロキウム

臨床医学と数理科学が 協力することで もたらされるものとは



講演者：岡山大学 水藤 寛
Hiroshi SUIITO

2015年 4月 10日(金)

16:30~17:30

会場：明治大学中野キャンパス
高層棟6階 セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート
現象数理学研究拠点



Abstract:

臨床医学は基本的に長年にわたる経験の蓄積の上に成り立っている。一方、数理科学は常に厳密な論理の上に成り立っている。このような一見全く違う性癖を持った分野が協力することは可能なのだろうか？

我々の体は桁外れに複雑で、その仕組みの全貌を解き明かすことなど、健康な状態はもちろん、その病気に至ってはとても無理なようにも見える。しかし、その複雑な生命システムの中には、様々な病気の発生メカニズムに関わる単純な、しかし本質的な要素が隠れているのではないだろうか？臨床医学における「経験の重要性」は、まさにこの「何が本質的なのかを見極める」ことにあると言ってもよい。この視点は、物事を抽象化し、本質的な要素を抽出しようとする数学の営みに重なってくる。

本講演では、我々の研究グループが進めて来ているそのような営みの一端を数値シミュレーションの結果を中心に紹介し、一緒にその目指すべきところについて考えたい。

■連絡先

東京都中野区中野 4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp